検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検　査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか		
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET® コメット株式会社

本社	〒174-0063	東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063	東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063	東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063	東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075	名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008	福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008	福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063	東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872

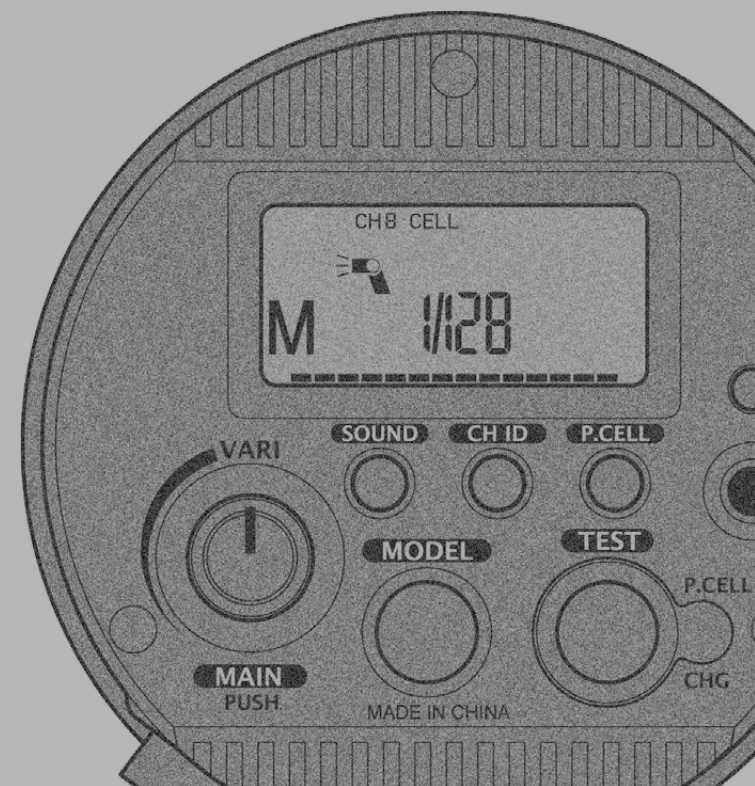
URL　http://www.comet-net.co.jp　　E-mail　mail@comet-net.co.jp

1506-0050A

COMET

ADm-300RC

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

はじめに

このたびは、コメットADm-300RC モノブロックストロボをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機はデジタル撮影に対応すべく、ストロボ光量をFULL から1/128の小光量まで調光可能です。AC コンセント、バッテリーパック、カーシガーソケットの3つの電源が使用可能でロケーション撮影に大変便利です。また、付属のワイヤレスリモコンは9つのチャンネル設定により複数台のADm-300RC を操作可能です。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

セット内容

- ADm-300RC（リフレクター、プロテクター、保証書）
- ワイヤレスリモコン ADm　Controller（単４電池　２本、保証書）
- ADm DC接続コード
- ADm シガーライター接続コード
- ADm ACアダプター（ACコード4m、保証書）
- ADm バッテリー充電アダプター（ACコード1.5m、保証書）
- ADm パワーパックキット　ADm パワーパック（保証書）
  ADm リチウムイオン電池（保証書）
  ADm パワーパックショルダーケース
  ショルダーベルト
- CR-シンクロコード　5m　ストレート
- ADm-300RC取扱説明書

目次

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。

■使用後は安全のため必ず AC コードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどを OFF にしてください。発火、火災の恐れがあります。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止）を示しています。

●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

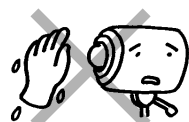
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警　告

■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りDC接続コードを本体から抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

■ 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

■清掃などでキセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切りDC接続コードを本体から抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、**一日以上**使用していないときに限って行ってください。

■本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。

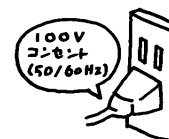
■ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

■DC接続コードを着脱する時は必ずメインスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

■使用電圧はAC100V〜240V（50/60Hz）です。

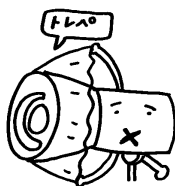
異なる電圧で使用すると感電、発光、火災の原因となります。（ACアダプター、充電アダプター）

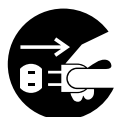
注　意

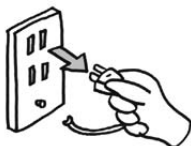
■ **使用中や使用直後は、キセノンランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。**

火傷の恐れがあります。

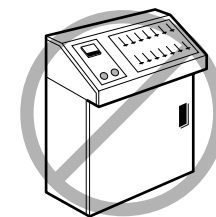
■ **ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。**

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。

■ **落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。**

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

■ **使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。**

（AC アダプター、充電アダプター）

2 使用上のご注意とお願い

● 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

（AC アダプター）

● ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1～2度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。

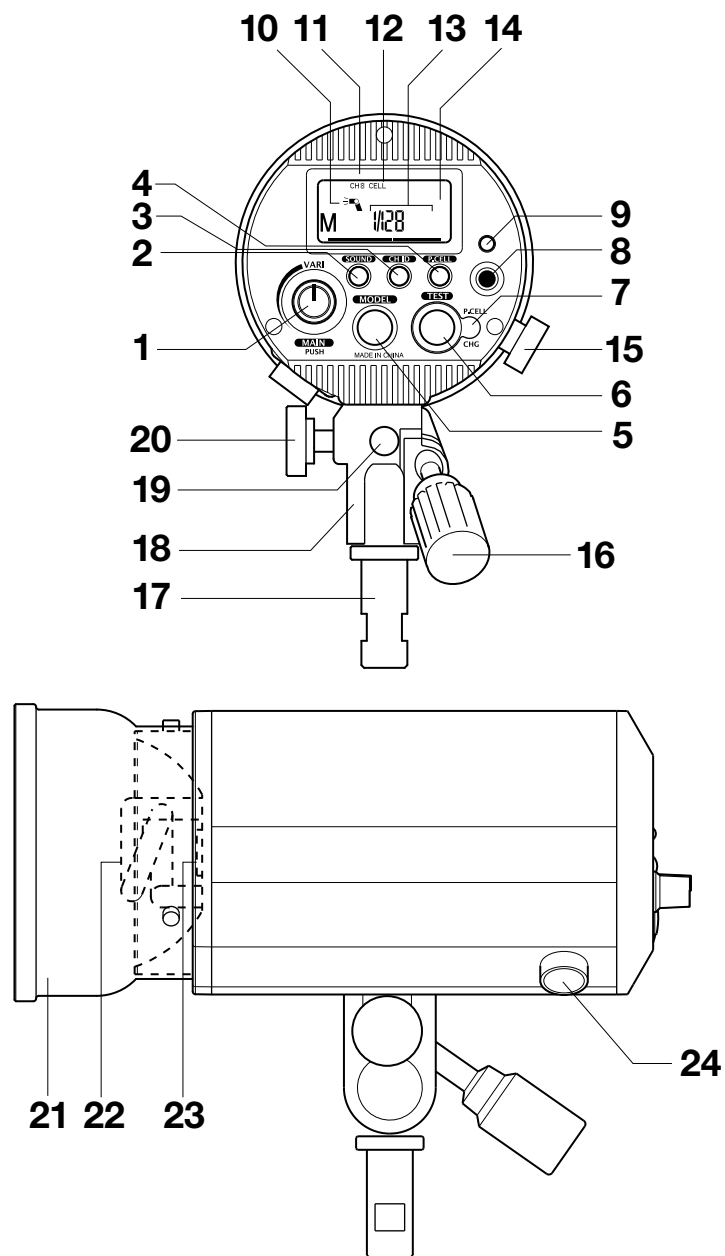
● ３ヶ月以上（10 ヶ月未満）の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力を FULL にして最低４時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

● 10 ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

● 過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときは過熱警報ランプが点滅し、知らせます。
このときはメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

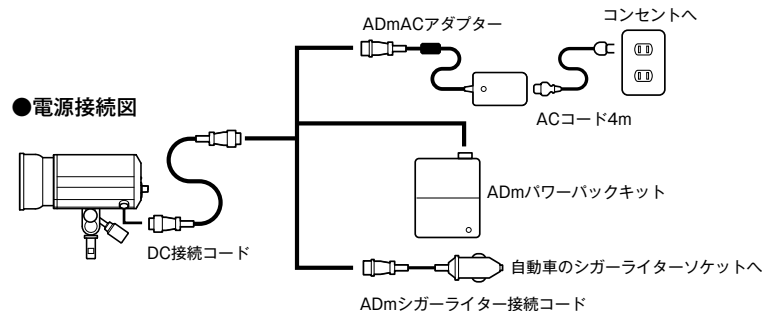
● 赤外シンクロ装置（当社製）の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

● 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

1	メインスイッチ(MAIN) ／ 出力バリエーター（VARI）	ツマミを押すと電源が「ON」になります。もう一度押すと「OFF」になります。ツマミを左右に回すと出力をFULL（1/1）から1/128まで1/3EVステップで調光します。
2	サウンドスイッチ(SOUND)	ブザー音を「ON」または「OFF」に切り替えます。 ※サウンドスイッチを「OFF」にすると過熱警報音も鳴りません。
3	IDスイッチ(CH ID) ／ 発光モード切替スイッチ	０から９までIDを設定します。付属のワイヤレスリモコンを同じID番号に合わせせることでリモコン操作ができます。 ５秒間の長押しで充電完了発光と充電中発光を切り替えます。
4	フォトセルスイッチ(P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。
5	モデリングランプスイッチ (MODEL) ／ モデリングモード切替スイッチ	モデリングランプを「ON」または「OFF」に切り替えます。 ５秒間の長押しでモデリングランプの常時点灯とストロボ発光時のモデリングランプ消灯を切り替えます。
6	テスト発光スイッチ(TEST)	テスト発光をするときは軽く押してください。
7	充電中表示(CHG) ／ フォトセル表示(P.CELL)	充電中は赤色ランプが点滅します。 フォトセルを「ON」にするとパイロットランプ(P.CELL)が緑色に点灯します。
8	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコードを接続します。
9	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。
10	サウンド表示	サウンドを「ON」にすると表示します。
11	ID番号表示	０から９までのID番号を表示します。
12	フォトセル表示	フォトセルを「ON」にすると表示します。
13	出力表示	出力値を表示します。
14	表示部	メインスイッチを「ON」にすると表示します。各種設定を表示します。
15	リフレクター固定ネジ	リフレクターをセットしてネジで固定します。
16	パン棒	雲台を操作するハンドルです。本体を動かす時に使用します。
17	ダボ	φ１７ダボスタンドに立てます。
18	雲台	本体を支える部分で、パン棒により角度を調整して固定します。
19	アンブレラ取付穴	アンブレラを使用するときは、この穴にアンブレラ軸を通します。
20	アンブレラ固定ネジ	アンブレラを固定します。
21	リフレクター	付属のリフレクターのほかに、CXタイプリフレクター（別売）も使用できます。
22	キセノン放電管	ストロボの発光管です。使用中、使用直後はかなりの高温になります。絶対に手をふれないでください。
23	モデリングランプ	LEDタイプのモデリングランプです。
24	DCコネクター	付属のDC接続コードで電源供給元に接続します。 使用後は必ず電源供給元から外してください。

4 操作手順

■ 1. 電源を接続してください

３種類の電源を使用することが出来ます。

● AC アダプターを使用する場合

① AC アダプターにDC 接続コードとAC コード(4m) を接続します。
② ADm-300RC のDC 入力コネクターにDC 接続コードを接続します。
　このときDC 接続コードのコネクター固定リングを必ず固定してください。
③ AC コードをコンセントに接続してください。
　AC アダプター本体のパイロットランプ(緑) が点灯します。

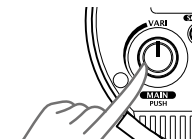
● AD mパワーパックキットを使用する場合

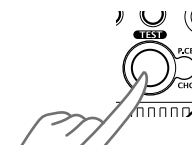
① ADm パワーパックキットのメインスイッチがOFF「○」になっていることを確認してください。
② ADm パワーパックキットにDC 接続コードを接続します。
③ ADm-300RC のDC 入力コネクターにDC 接続コードを接続します。
　このときDC 接続コードのコネクター固定リングは必ず固定してください。
④ ADm パワーパックキットのメインスイッチをON「I」にします。

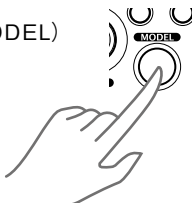
●シガーライター接続コードを使用する場合

① シガーライター接続コードとDC 接続コードを接続します。
② ADm-300RC のDC 入力コネクターにDC 接続コードを接続します。
　このときDC 接続コードのコネクター固定リングを必ず固定してください。
③ シガーライター接続コードのコネクターを車のシガーライターに奥までしっかり接続します。

■ 2. メインスイッチ (MAIN PUSH) を「ON」にしてください

メインスイッチを軽く押すと液晶が表示し、充電を開始します。
充電中は充電中ランプ（CHG）が赤色に点滅し、充電完了すると消灯します。

■ 3. テスト発光をしてください

テスト発光スイッチ（TEST）を軽く押し、正常に発光することを確認してください。

■ 4. モデリングランプの点灯

モデリングランプを使用するときはモデリングランプスイッチ（MODEL）を押してください。

■ 5. カメラとのシンクロを確認してください

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

【お願い】

- **本番撮影をされる前にシンクロテストを行うことをお勧めします。**
- **フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 秒で使用してください。**
- **フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ（同調）しません。**
- **フォトセル、ワイヤレスリモコンをご使用になる場合も、本番撮影される前にシンクロテストを行うことをお勧めします。**

5 メインスイッチ／出力バリエーター

■ メインスイッチ

メインスイッチ（MAIN PUSH）を押すと電源が「ON」になります。
もう一度押すと電源が「OFF」になります。

■ ADm-300RC メインスイッチの ON/OFF 状態保持機能

電源を切った際、その時のメインスイッチの ON ／ OFF 状態を
保持します。ご使用の状況に合わせて選択してください。

● ADm-300RC のメインスイッチで OFF した場合

メインスイッチは OFF が保持され、次回ご使用の際は ADm-300RC のメインスイッチの
ON 操作で起動します。（ACアダプターでご使用の場合）

● ADm-300RC のメインスイッチ以外で OFF した場合

① パワーパックキットのメインスイッチで OFF したとき

② AC アダプターの AC コードをコンセントから抜いたときや、ブレーカーや他の手段でコンセントの電源を OFF したとき

メインスイッチは ON が保持され、次回ご使用の際はメインスイッチの操作なしで起動します。
（パワーパックキットや天井吊り式でご使用の場合）

【ご注意】

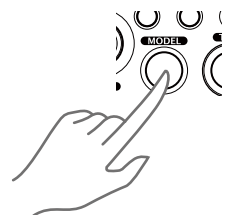
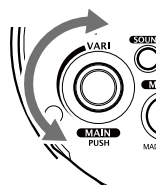
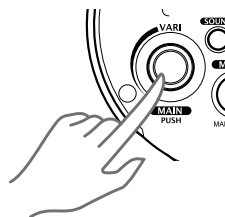
- **電源 ON を保持の際は、DC 接続コードのコネクター抜き差しによる電源の ON/OFF はおやめください。コネクターのピンを焼損する恐れがあります。**
- **ON 設定でも過熱保護機能により電源が OFF した場合は OFF が保持されます。警報が解除されるまで発光しないでください。**

■ 出力バリエーター

出力バリエーター (VARI) を回すと、出力を FULL（1/1）から 1/128 まで
1/3EV ステップで調光します。

6 モデリングランプスイッチ

■ モデリングランプスイッチ

モデリングランプスイッチ (MODEL) を押すとモデリングランプ
（LED）は 100%の明るさで点灯します。もう一度押すとモデリ
ングランプを消灯します。

■ モデリングランプ点灯モードの切り替え

モデリングランプスイッチを５秒間長押しするとモデリングランプの点灯モードを選択することが
出来ます。

- モデリングランプを常時点灯
- ストロボ発光時にモデリングランプを消灯

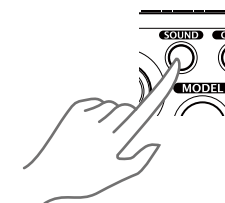
7 サウンドスイッチ

ブザー音の「ON ／ OFF」を切り替えます。

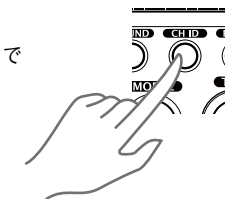
■ ブザー音「ON」

- 充電完了音、各スイッチ操作時のブザー音、リモコン受信音、過熱警報音を「ON」にします。
- 液晶窓にサウンドマークを表示します。

■ ブザー音「OFF」

- 充電完了音、各スイッチ操作時のブザー音、リモコン受信音、過熱警報音を「OFF」にします。

8 ID スイッチ

■ ID スイッチ

ID スイッチ（ID）を押すと、ストロボ本体の ID 番号を 0 から 9 まで
設定します。
ID 番号は液晶に表示されます。
付属のワイヤレスリモコンの ID を同じチャンネルに合わせることで
リモコン操作ができます。

【ご注意】

ストロボ本体の ID 番号 が0のとき、ワイヤレスリモコンの操作は出来ません。

■ ストロボ発光モードの切り替え

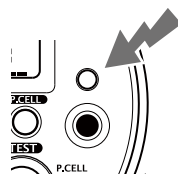
ID スイッチを５秒間の長押しでストロボの発光モードを選択することが出来ます。

- 充電完了後のみ発光が可能
- 充電中の発光が可能

【ご注意】

充電中の発光は光量が 100%ではありません。

9 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光をさせるとき「ON」にします。
フォトセルスイッチ（P.CELL）を押して「ON」にすると
液晶に「CELL」と表示され、テストスイッチ右側の
パイロットランプ (P.CELL) が緑に点灯します。

【お願い】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
  また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。
- 同調発光させないとき「OFF」にしてご使用ください。
- 複数台を赤外シンク口装置で使うときは、必ず各本体に 1 台ずつ赤外シンクロ受信器をセットしてください。発光しても同調発光しないものがでます。

過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報が作動します。

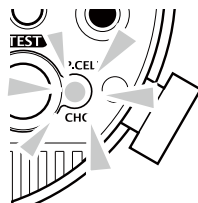
■過熱警報には２種類あります。

●充電中ランプ（赤色）の点滅とともにブザー音が鳴った場合

警報作動中に 10 回発光すると電源が強制的に OFF になります。

※ サウンドスイッチ（SOUND）が OFF のときブザー音は鳴りません。

●充電中ランプ（赤色）が点滅し、ブザー音が鳴らない場合

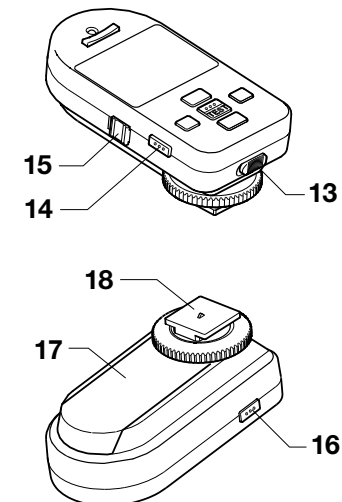
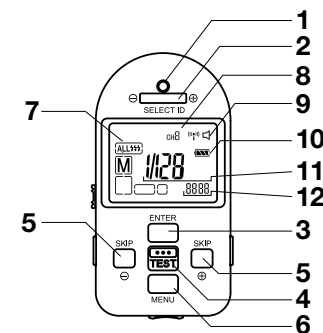
ストロボの発光を強制的に停止します。

【お願い】

過熱警報が作動したときは、ただちに使用を中止してください。

冷却を早めるためにメインスイッチを OFF にし、風通しの良いところに置いてください。

11 ワイヤレスリモコンADm Controller

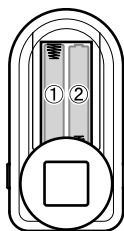
障害物が無い場合のリモコン操作可能距離は 100 mです。

■各部の名称

1. パイロットランプ
2. ID スイッチ (SELECT ID)
3. 送信スイッチ (ENTER)
4. テスト発光スイッチ (TEST)
5. 調光スイッチ (SKIP- ／ SKIP+)
6. メニュースイッチ (MENU)
13. 電源スイッチ (POWER)
14. モデリングスイッチ (ON)
15. 発信モード切替スイッチ (EACH ／ ALL)
16. フォトセルスイッチ (CELL)
17. 電池フタ（電池収納部）
18. ホットシュー

表示部

7. 発信 ALL モード表示
8. ID 番号表示
9. サウンド ON 表示
10. リモコン電池残量表示
11. ストロボ出力表示
12. シャッターカウンター

■ 操作準備

1. 電池を入れます。
   ① 電源スイッチ（POWER）が「OFF」になっていることを確認します。
   ② 裏面の電池フタを開けて単４電池２本をセットします。
   右図の①②の順番でセットしてください。
   電池収納部の電極表示に従い、正しい向きで入れてください。
   ④ 電池フタを閉めます。
2. 電源スイッチを「ON」にしてください。
   表示部が点灯し電池残量が表示されます。

■ オートパワーオフ機能

電池の消耗を防ぐため、電源が「ON」の状態で６分間操作しないと、自動的に電源が切れます。
この場合、電源スイッチを「OFF」にして、もう一度「ON」にしてください。

■ 個別の ADm-300RC モノブロックストロボを操作する

1. 発信モード切替スイッチ（EACH/ALL）を「EACH」にします。
2. リモコンの ID スイッチ（SELECT ID）で、リモコンの ID 番号を操作するストロボの ID 番号に合わせます。
3. リモコンのテスト発光スイッチ (TEST) を押してください。リモコンのパイロットランプが点灯して操作するストロボが発光すれば正常に通信がおこなわれています。

【ご注意】

リモコンの ID 番号を変えた場合、リモコン表示部のストロボ出力、サウンド表示は直前にリモコン操作したストロボの設定が表示されています。
そのため、ID 番号を変えた場合はストロボ本体の出力設定、サウンド設定を確認の上、リモコン操作してください。特に、ストロボ出力は写真の仕上がりに影響いたしますのでリモコンによる誤設定にご注意ください。

●ストロボ出力の調光

1. メニュースイッチ (MENU) を押して表示部にストロボ出力を表示させます。
2. 調光スイッチ (SKIP −／ SKIP+) を押して希望するストロボ出力を表示させます。
3. 送信スイッチ (ENTER) を押すとストロボ本体が希望の出力に設定されます。

【ご注意】

リモコンのストロボ出力表示を変えたときは、必ず送信スイッチ (ENTER) を押してください。
送信スイッチ (ENTER) を押さないと、リモコンの出力表示がストロボ本体のストロボ出力に設定されません。
特に撮影時は、写真の仕上がりに影響しますのでご注意ください。

●モデリングランプ

モデリングランプスイッチを押すとモデリングランプが「ON ／ OFF」します。

●フォトセル

フォトセルスイッチ (CELL) を押すとフォトセルが「ON ／ OFF」します。

●サウンド

① メニュースイッチ (MENU) を押して表示部の出力表示を消します。
② 調光スイッチ (SKIP −または + どちらでも可) を押すとサウンドが「ON ／ OFF」します。

■ 無線シンクロ発信機として使用する

カメラのアクセサリーシューにセットして無線シンクロ発信機として使用します。

1. 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
2. カメラに取り付けます。
   リモコン底面のホットシューをカメラのアクセサリーシューに差し込み、固定リングで固定します。
3. 電源スイッチを「ON」にしてください。
4. 発信モード切替スイッチを「ALL」にします。
   表示部に「ALL」表示が点滅表示し、ID 番号１から９の ADm-300RC がすべて操作できます。

【ご注意】

- **発信モード切替スイッチを「ALL」にした状態で、ストロボ出力の調光、モデリングランプの「ON ／ OFF」、フォトセルの「ON ／ OFF」、サウンドの「ON ／ OFF」をリモコン操作する場合、ID 番号 1～9すべてのストロボが同一の設定になります。**
  特にストロボ出力の調光は全ての ADm-300RC モノブロックストロボが同一の出力に設定されますので撮影時にはご注意ください。
- **ADm Controller をカメラのアクセサリーシューにセットして電波シンクロ発信器として使用する場合は必ず、リモコンのメニュースイッチ（MENU）を押して表示部にストロボ出力を表示させてください。**
  ストロボ出力を表示していない状態では、カメラのシャッターを押しても ADm Controller から同調発光信号が発信されないため、ADm-300RC モノブロックストロボが発光しません。

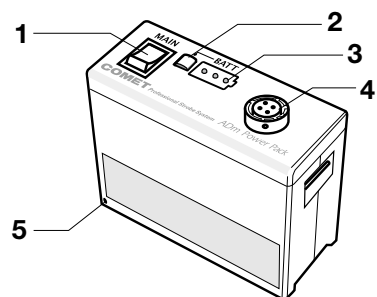
●シャッターカウンター機能

カメラのアクセサリーシューにセットした状態で、カメラのシャッターを押すと表示部右下のシャッターカウンターがシャッター回数をカウントします。
電源スイッチを OFF ⇒ ON するとリセットされます。

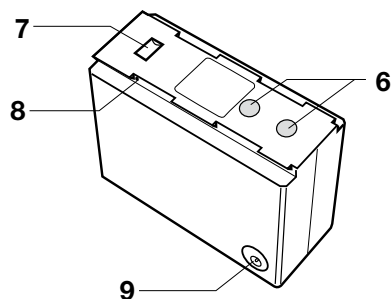
【ご注意】

ADm Controller は無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。必ず、撮影前にテストしてご使用ください。

12 ADm パワーパックキット

■各部の名称

ＡDm パワーパック

1. メインスイッチ (MAIN)
2. 電池残量確認ボタン (BATT)
3. 電池残量表示
4. DC 出力コネクター
5. 赤丸マーク

《底面》
電極
接合バネ

ＡDm リチウムイオン電池

6. 電極
7. バネ受け
8. 赤丸マーク
9. 充電コネクター

■ 電池の充電方法

1. ＡＤｍ パワーパックのメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にします。
2. 充電アダプターに付属の AC コード（長さ 1.5m） を接続します。
3. ＡＤｍ リチウムイオン電池の充電コネクターに充電アダプターを接続します。
   充電アダプターのパイロットランプが緑色に点灯します。
   ※ この状態では充電は開始されていません。
4. AC コードをコンセントに差し込むと、充電アダプターのパイロットランプが赤色に点灯し、充電を開始します。
5. 充電アダプターのパイロットランプが緑色になると充電完了です。（充電時間約５時間）

■ 電池の残量確認

ADm パワーパックの電池残量確認ボタン (BATT) を押すと電池残量表示が点灯します。
電池の充電状態を確認してください。

■ 電池の交換方法

ADm パワーパックキットは上部の ADm パワーパック（操作部） と下部の ADm リチウムイオン電池を分離することが出来ます。
また、ADm リチウムイオン電池は上部のパワーパックと分離した状態で充電することが出来ます。

1. ＡＤｍパワーパックのメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にします。
2. パワーパック側面の赤丸マークを正面に見てリチウムイオン電池部分を左方向にスライドして電池をはずします。
3. パワーパックの赤丸マークとリチウムイオン電池の赤丸マークを合わせ、電池を右方向に奥までしっかりスライドして電池を接続します。

長時間 ADm パワーパックキットを使用する場合は、予備の ADm リチウムイオン電池（別売）をご用意ください。

【警 告】

- **発熱・発火・感電・傷害の恐れがあります。**
- **電池、接続コードの着脱は、メインスイッチを OFF にしてからおこなってください。**
- **パワーパックに電池を接続したまま充電するときは、パワーパックのメインスイッチを OFF にしてください。**
- **分解や改造はしないでください。**
- **水にぬらさないでください。**
- **充電中はストロボを接続しての使用は絶対におやめください。故障の原因になります。**

■リチウムイオン電池の取り扱いについて

1. 使用温度について

・使用温度は、0℃～ 40℃の範囲内で使用してください。
0℃以下や 40℃以上では電池容量が少なくなり所定の発光回数が得られなっかたり、性能劣化の原因となる場合がありますのでご注意ください。

※ADm-300RC を低温環境でご使用になる場合は、事前にテストをして光量測定をしてください。
低温時の場合、所定の性能を発揮しない恐れがありますのでご注意ください。

2. 寒冷地での使用について

・電池が 0℃前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温(20℃～ 25℃)になるように暖めてください。（カイロなど）
・電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。
感電や故障の原因になります。

3. 充電について

・充電時の周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内で行ってください。
特に効率がよいのは、10℃～ 30℃です。
・0℃以下、あるいは 40℃以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

4. 保存について

・保存温度は 0℃〜 30℃の範囲で、乾燥した場所を選んでください。
・保存期間が長期の場合、満充電状態ではなく電池残量を ADm パワーパックの電池残量表示が 2 個点灯する充電状態で涼しい場所で保管してください。

5. 長期間の放置について

電池を長期間放置しておくと自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電をおこなってください。

6. リチウムイオン電池のリサイクルについて

劣化し不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。不要になった電池は金属端子部分にテープを貼り付けて絶縁してください。

Li-ion 10

【警 告】 発熱・発火・感電・傷害の恐れがあります。

- **●指定の充電器以外で充電しないでください。**
- **●分解や改造はしないでください。**
- **●水にぬらさないでください。**
- **●火中への投入や過熱はしないでください。**
- **●他の用途に転用しないでください。**
- **●落下させたり、強い衝撃を与えないでください。**
- **●電池の電極間がショートしないように、ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。**
- **●不要になった電池は電極部分にテープを貼り付けて絶縁してください。**

【ADm リチウムイオン電池の輸送に関するご注意】

● 航空機輸送の場合

○ モノブロックストロボ ADm-300RC に使用している ADm リチウムイオン電池は、IATA（国際航空運送協会）の「危険物規則」（IATA Dangerous Goods Regulations）と、「国際連合による試験及び基準に係る手引書 UN38.3」（UN Manual of Tests and Criteria, Part III, Sub-section 38.3）の試験項目に合格しており、バッテリーのワット時定格量は、100Wh 以下です。
（ADm リチウムイオン電池のワット時定格量は、6000mAh×11.1V=66.6Wh になります。）

《 ADm パワーパックキット 》
ADm リチウムイオン電池を ADm パワーパックに取り付けた場合、受託手荷物ならびに機内持ち込みが認められていますが、持ち込みの可否・個数に関して詳しくは事前にご利用になる航空会社の HP を確認されるか、航空会社に直接ご確認ください。（航空会社の判断による持ち込み不可の場合でも当社は損害負担は致しかねます。）

《 ADm リチウムイオン電池 》
予備の ADm リチウムイオン電池は、金属端子ショートによる発火、火災防止のため、それぞれの電池を個別に付属ケースに収納してください。
付属ケースが無い場合は金属端子を粘着テープで覆ったり、個別にプラスチックの袋もしくは保護パウチに収納してください。

○ 破損または不具合のあるバッテリーは、航空機で輸送することはできません。

● 海上・陸上輸送の場合

○ 国際連合危険物輸送勧告によって、リチウムイオン電池は、危険物の扱いとなります。
各輸送手段での輸送規則に従ってください。

13 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。
本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。
また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のコード類（DC 接続コード、ACコードなど)、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。
保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。
また、修理にお出しになる前にプラグが抜けてないか、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。
修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

14 仕様

品名	ADm-300RC
型式	ADM-300RC
電源	ＡＤｍ　ＡＣアダプター（100V～240Ｖ　50/60Hz） ＡＤｍ　パワーパックキット（DC12V） ＡＤｍ　シガーライター接続コード（DC12V）
最大出力	300Ws
充電時間	3.2秒
ストロボ調光範囲	FULL～1/128 1/3EVステップ
ストロボ調光方式	シリーズカット方式
出力表示	液晶によるデジタル表示（1/1～1/128）
キセノンランプ	ヘリカル管
モデリングランプ	LED　10W
モデリングモード	ON/OFF ボタン５秒間長押しで常時点灯、発光中消灯モードに切り替え
充電表示	充電中に赤色ランプ点滅、充電完了時に赤色ランプ消灯と同時に充電完了音（サウンド「ON」時）
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ×1
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵（スイッチ付き）
フォトセル表示	フォトセルONで緑色ランプ点灯（P.CELL）
サウンドモード	ON/OFF
チャンネルID	チャンネルID ０～９（０はワイヤレスリモコン操作不可）
過熱警報	充電中ランプ（赤色）点滅（CHG）
適合リフレクター	付属リフレクター（CXタイプ）
寸法	105φ×192(l) ×162.5(h) mm（本体のみ）
重量	1.55kg（本体のみ）

品名	ＡＤｍ　Ｃｏｎｔｒｏｌｌｅｒ
型式	ADM-CNT
周波数	2.4095GHz
IDチャンネル数	９
最高動作距離	100m
シンクロ電圧	DC３V
使用電池	単４型電池２本
寸法	47(w)×92(l)×36(h)mm
重量	60g（本体のみ）

品名	ADm　パワーパックキット
型式	ADM-PWPKIT
発光回数	約700回（出力FULL　電池100％充電時）
バッテリーインディケーター	バッテリーチェックボタンにより３灯のＬＥＤランプで表示
寸法	102(w)×44(d)×152(h)mm （ADm　パワーパック、ADm　リチウムイオン電池）
重量	650g（ADm　パワーパック、ADm　リチウムイオン電池）
キット内容	ADm　パワーパック、ADm　リチウムイオン電池、 ADm　パワーパックショルダーケース（付属品　ショルダーベルト）

品名	ADm　パワーパック
型式	ADM-PWP
使用電池	ADm　リチウムイオン電池 (ADM-ＬＩB)
バッテリーインディケーター	バッテリーチェックボタンにより３灯のＬＥＤランプで表示
寸法	102(w)×44(d)×77(h)mm
重量	135g

品名	ADm　リチウムイオン電池
型式	ADM-ＬＩB
公称電圧	11.1V
定格容量	6000mAh
ワット時定格量	66.6Wh
専用充電器	ADm　バッテリー充電アダプター (LYD1261800)
寸法	102(w)×44(d)×80(h)mm
重量	515g

品名	ADm　バッテリー充電アダプター
型式	LYD1261800
定格電圧	AC100V～240Ｖ 50/60Hz
適用電池	ADm　リチウムイオン電池 (ADM-ＬＩB)
充電時間	５時間
充電中表示	パイロットランプ赤色点灯
充電完了表示	パイロットランプ緑色点灯
寸法	115(w)×50(d)×31(h)mm
重量	200g
付属品	ACコード1.5m

品名	ADm　ACアダプター
型式	LYD1208000
定格電圧	AC100V～240Ｖ 50/60Hz
充電中表示	パイロットランプ緑色点灯
寸法	153(w)×60(d)×39(h)mm
重量	460ｇ（本体のみ）
付属品	ACコード4m

●本仕様は2015年６月現在のものです。改良のため予告なく変更することが有ります、あらかじめご了承ください。